

工学リテラシーII -事業戦略と知的財産- (3799-150:1 単位) 修士・博士対象

概要:

高い専門性は持ちつつ、リーダーシップ、課題設定・解決・遂行力、責任感・使命感、高いコミュニケーション能力、情報・倫理等に優れた能力を涵養し、複合領域で柔軟な応用力を持つことを目指した専攻横断型教育プログラムの一環として実施する。イノベーション、技術マネジメント、リーダーシップ、事業戦略、知的財産管理、倫理などをキーワードとし、産業界等の第一線でご活躍されている講師を招へいし講演いただく。

講義スケジュール: 14:55-16:40 場所:工学部 2号館 223号講義室

日時	講師	講義内容
10月8日(木)	横野 泰之 東京大学大学院工学系研究科機械工学専攻教授	ガイダンス
10月15日(木)	小池 淳義 サンディスク株式会社 代表取締役社長 兼 サンディスクコーポレーション シニアバイスプレジデント	グローバルで創造的なリーダーシップについて
10月22日(木)	坂本 修一 文部科学省 産業連携・地域支援課長	今求められる大学発イノベーションとアントレプレナー
11月5日(木)	八尋 俊英 株式会社日立コンサルティング代表取締役社長	経済社会システム変革期におけるイノベーション
11月12日(木)	牛久保 雅美 サンデンホールディングス株式会社代表取締役会長	私がめざしたグローバル・エクセレント・カンパニー
11月19日(木)	亀井 信一 株式会社三菱総合研究所 政策・経済研究センター センター長	モノづくりからみた科学技術とその戦略
12月3日(木)	佐藤 文一 経済産業省大臣官房参事官(技術担当)	経済産業省のイノベーション政策
12月10日(木)	堀 修 株式会社東芝 研究開発センター 所長	事業戦略に基づく研究開発マネジメント

受講登録:

受講希望者は下記宛てに受講申し込みのこと。
講師や開催日時の変更を行う場合があります。HPをご確認下さい。

東京大学大学院工学系研究科機械工学専攻

GMSI プログラム事務局

〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1

工学部 2号館 2階 203号室

Tel/Fax 03-5841-7437(内線 27437)

E-mail: office@gmsi.t.u-tokyo.ac.jp

URL : <http://gmsi.t.u-tokyo.ac.jp/>



グローバルで創造的なリーダーシップについて
Keys to Global And Innovative Leadership

小池 淳義

Atsuyoshi KOIKE

サンディスク株式会社 代表取締役社長 兼
サンディスクコーポレーション シニア バイス プレジデント
President, SanDisk Limited & Senior Vice President, SanDisk Corporation

日 時: 2015年10月15日(木) 14:55-16:40
会 場: 東京大学工学部2号館2階223号講義室
授業科目: 工学リテラシー II (科目番号3799-150)

要旨

産業全般に通用するグローバルで創造的なリーダーシップについて議論する。技術に於いてもビジネスに於いても、今後の方向を決定するのは創造的アイデアとそれを実施してイノベーションへ導くリーダーシップであり、世界全体が舞台となる。自らの経験からイノベーションの例について説明し、エッセンスを抽出する。リーダーシップについては、早い時期からの目標設定の重要性を指摘する。多国籍人からなる企業の実際からグローバル化の本来的意味を再認識し、これまでの価値観から脱却して今後の日本及び日本人の進むべき方向を提言したい。ダイバーシティ、倫理観、友人、趣味など、現在のリーダーにとって重要な要素についても議論する。





今求められる大学発イノベーションとアントレプレナー
Social Demand for university-driven innovation and entrepreneur

坂本 修一

Shuichi Sakamoto

文部科学省 産業連携・地域支援課長

Director of University-Industry Cooperation and Regional R&D Division,
Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology

日 時: 2015年10月22日(木) 14:55-16:40

会 場: 東京大学工学部2号館2階223号講義室

授業科目: 工学リテラシー II (科目番号3799-150)

要旨

イノベーション・エコシステムの形成について、海外では様々なモデル作りが精力的に行われており、我が国でもそのような取り組みの抜本的強化が必要であることが叫ばれている。

その中で、大学・研究機関には、イノベーション・エコシステムの形成・成長の核となる革新的な技術、事業構想、人材を生み出す役割を担うことが強く期待されており、また、産業界にも自前主義からの脱却、オープンイノベーションへの方向転換が求められている。本講では、我が国の経済発展にとって産業界と大学・研究機関のパートナーシップをより本質的なものに深化させることが急務とされている状況をレビューするとともに、産学官パートナーシップの国際比較の結果などに基づき、イノベーション創出の観点から我が国の大学等の知的生産、人材育成が抱える課題を抽出し、それを克服するためのアプローチについて議論する。





経済社会システム変革期におけるイノベーション
Next Social Innovation

八尋 俊英

Toshihide Yahiro

株式会社 日立コンサルティング 代表取締役社長
President, Hitachi Consulting Co.,Ltd.

日 時: 2015年11月5日(木) 14:55-16:40
会 場: 東京大学工学部2号館2階223号講義室
授業科目: 工学リテラシー II (科目番号3799-150)

要旨

経済社会システムやテクノロジーの哲学そのものがビッグヒストリーのスケールで考えたとき、現在は近い将来大きく変わる転換点にあり、その転換スピードを促進するITのテクノロジーのみならず社会システムの変革を意識してリードすることの在り様が日系とグローバルプレイヤーの差異にもつながりつつある。

エネルギー、交通、金融など社会インフラ関係のコンサルティングにおいて、企業の壁を越えて実績を積む「日立コンサルティング」という視点から見える、構造的に変革期にあるクラウド・イノベーションとでもいうべき時代について、本講においては私自身関わった日本の電機メーカーのサービス事業進出や経産省で問題提起し著作権一部改正につながった制度改革も振り返りながら、本プログラム参加者が卒業後社会に期待される視野角、期待値を提案、意見交換を行いたい。





私がめざしたグローバル・エクセレント・カンパニー
The global excellent companies which I aimed at

牛久保 雅美

Masayoshi Ushikubo

サンデンホールディングス株式会社 代表取締役会長
Chairman, SANDEN HOLDINGS CORPORATION

日 時: 2015年11月12日(木) 14:55-16:40
会 場: 東京大学工学部2号館2階223号講義室
授業科目: 工学リテラシー II (科目番号3799-150)

要旨

私がめざしたのは「グローバル・エクセレント・カンパニーズ」である。元々海外が好きで海外展開することが私の夢であった。私たちのお客様はグローバル一流企業であり、私たちが一流でないとやっていけない。品質が一流でないとグローバル競争に負けてしまうという危機感があった。

時代は日本経済がバブルの崩壊で沈むなか、個々のマネジメント品質の観点からも多くの課題を抱えていた。それらの課題に対し、マネジメント品質の向上も視野に入れた「TQM」にサンデンの独自の解釈や目的を加えたSTQM(サンデンTQM)を全社展開した。

更にデミング賞および日本品質管理賞への挑戦改革活動を国内のみならずグローバル拠点にも展開し、更なる改革を成し遂げた。その中で私が拘ったのは、一流の先生、指導者である。TQMでは日本で一流の東大久米教授、TPMでは早大秋月教授にお願いした。

グローバル展開、品質経営、環境経営を矛盾なく成功させる各々の経営基本コンセプトとその実践展開について、経営としての考え方について「人とのコミュニケーション」、「経営者としての行動」、「グローバル企業としての日本のあり方」等についてお伝えする。





モノづくりからみた科学技術とその戦略 Science & Technology, and its Strategy

亀井 信一

Shinichi KAMEI

株式会社三菱総合研究所 政策・経済研究センター センター長
General Manager, Mitsubishi Research Institute, Inc.

日 時: 2015年11月19日(木) 14:55-16:40
会 場: 東京大学工学部2号館2階223号講義室
授業科目: 工学リテラシーⅡ(科目番号3799-150)

要旨

わが国は、資源が乏しく、燃料、食料を輸入できなければ直ちに立ち行かなくなる不安定な先進国であるのにも関わらず、一方の輸出の基盤を担ってきた製造業の競争力が失われ、存在感が急速に希薄になりつつある。これを打ち砕くためには従来とは全く異なる発想の転換が必要である。これからのモノづくりは、サステイナブルで環境調和型のものが求められる。その期待が、自己組織化ナノテクノロジーなどに向けられている。究極のモノづくりとは、モノの持っている本質的な性質を最小のエネルギーで取出すことである。近年、出口志向が声高に叫ばれ、ともすると基礎研究が軽視されそうになるが、自然を愛でるという哲学に基づくモノづくりの実現は、産業的な期待のみならず、新しいサイエンスの世界をも切り拓くことが期待されている。これが今求められている科学技術とその戦略である。





経済産業省のイノベーション政策
Innovation Policy of METI

佐藤 文一

Fumikazu SATO

経済産業省大臣官房参事官(技術担当)
Director for Technology Affairs and Advanced Capacity
Building Strategy, Minister's Secretariat

日 時: 2015年12月3日(木) 14:55-16:40
会 場: 東京大学工学部2号館2階223号講義室
授業科目: 工学リテラシー II (科目番号3799-150)

要旨

イノベーションは、単なる技術革新ではなく、新しい技術により新しい製品やサービスが市場に現れ、具体的な経済効果をもたらすことである。国では、基礎研究から実用開発まで様々な研究開発を行っているが、経済産業省は中でも特に、実用化を目指した研究開発を担い、更には知財の活用・保護や標準化の推進などを通じて、新しい製品・サービスを生み出すことを目指して、関連の技術政策を進めている。

本セミナーでは、経済産業省の最近の技術関連施策を概観するとともに、イノベーションを起こすためのシステムや人材について問題提起を行いたい。





事業戦略に基づく研究開発マネジメント Research management based on business strategy

堀 修

Osamu Hori

株式会社東芝 研究開発センター 所長
Director, Toshiba Corporate R&D Center

日 時: 2015年12月10日(木) 14:55-16:40
会 場: 東京大学工学部2号館2階223号講義室
授業科目: 工学リテラシー II (科目番号3799-150)

要旨

少子高齢化・環境破壊・エネルギー問題等世界を取り巻く重大課題にソリューションを提供することが東芝の企業としての使命と考える。民間企業として事業を行うことで持続可能な社会と社業を両立していくために、コアコンピタンスとなる技術を次々と創出することが研究開発センターの重要なミッションとなる。幅広い事業ポートフォリオを持つ東芝グループ企業のために、強い技術を生み出す研究開発をどのように舵取りしていくかは難しいマネジメントである。東芝の主な事業ポートフォリオ・事業戦略を紹介し、それに基づき、どのように研究開発マネジメントを行っているかを具体的な事例を交えて紹介する。

